

2025年5月4日
株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第2戦 決勝上位コメント

■ 第2戦 チャンピオンクラス優勝 白崎 稜【#16 Kageyama YBS Verve MCS4】



「FIA-F4 に参戦して2年で優勝できたことは、自分にとってすごく嬉しいことです。応援してくれた皆さんに感謝したいです。スタートを失敗した昨日（第1戦）のレース後、チームでしっかりとその部分を見直して、チームの力で今日（第2戦）はうまくスタートを切ることができました。気持ち的にも落ち着いていました。レースペースについても予選の時から良さそうな感じはあって、実際に今日も自分の思い通りに走れるセットアップになっていました。なので、今回は完璧なレース。午後（第3戦）は自分が2番手スタートでポールポジションが（同じチームの）佐藤樹選手ということで、チームで3位以下を引き離す展開の上でチームメイトバトルを楽しみたいです」

■ 第2戦 チャンピオンクラス2位 佐藤 樹【#17 Kageyama チームスタイル MCS4】



「スタートは良くもなく悪くもなくという感じでしたが、うまく順位を守ることができて良かったです。1コーナーも少しミスがありながらも、キープできました。でもその後のペースは、安定はしていたものの白崎選手を追えるほどではなく、そこは課題。SC（セーフティカー）リスタートの際も、前よりも後ろを気にしなければなりません。これからチームと話し合っ、次のレースでは改善したいと思います。午後（第3戦）はポールポジションからのスタートなので、まずはスタートに集中してトップを守って、優勝できるよう頑張ります」

■ 第2戦 チャンピオンクラス3位 鈴木 斗輝哉【#29 TGR-DC RS F4】



「スタートやSC（セーフティカー）リスタートでは、あともう少し近づけていけば抜くチャンスはありましたが、優勝は難しかったと思います。前の2台はレースペースがとにかく速くて、追いつくのが精いっぱい。それ以外では、仕掛けるところまでいけません。自分の方が速いセクターもありましたが、総合的には2台が上。特にストレートが2台は速くて、スリップが使えるところまで近づけず、悔しかったです。昨日（第1戦）のレース時に比べて気温が低く、マシンバランスも今ひとつのところがりました。気温が上がってコンディションが変化する次のレース（第3戦）には、その部分をしっかりとアジャストして挑みたいと思います」

■ 第2戦 インディペンデントクラス優勝 DRAGON 【#30 B-MAX TEAM DRAGON】



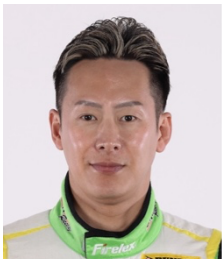
「オープニングラップは、順位を落としてでも、とにかく混乱に巻き込まれないことを心がけていました。その結果、案の定3位に後退しましたが、ペース的に有利だと思っていたので、バトルで抜き返す自信はありました。クルマの特性の違いからストレートは中島選手の方が速く簡単ではなかったのですが、いろいろと工夫して3周くらいかけてなんとか攻略することができました。後半SC（セーフティカー）が出なくて助かりました。昨日（第1戦）がノーポイントということで、ポイント差をつめるためにも、2番手スタートの次のレース（第3戦）も勝ちに行きます」

■ 第2戦 インディペンデントクラス2位 中島 功【#10 Rn.SHINSEI.MCS4】



「状況はよく覚えていないのですが、スタート1周目でなんとかトップに浮上することができて、さらに DRAGON 選手との間にチャンピオンクラスが2台いたので“ヨッシャー”って感じで、このまま初優勝できるのではと思っていたところ、だんだん黄色いクルマ（DRAGON 選手）が近づいてくるのが見えました。そう簡単にはいかないですね（笑）。次のレース（第3戦）はポールからのスタートになるので今度こそ勝ちたいですが、そう甘くはないでしょうね」

■ 第2戦 インディペンデントクラス3位 KENTARO 【#55 baum beauty clinic】



「スタートが決まって、せっかくポジションをひとつ上げること（2番手浮上）ができたのに、気づいたら DRAGON 選手に抜き返されていました。さすがは実力者。ぐんぐん迫ってきて、最後はあっさり攻略されてしまいました。その後のペースも、中島選手と DRAGON 選手は速かったです。ついていきたかったのですが、“力及ばず”といった感じでした。1周のタイムでは勝っていても、経験不足もありレースペースやバトルについてはまだまだ課題が多いようです。次のレース（第3戦）ではなんとか、ひとつでも順位を上げられるよう頑張ります」